

保育園でのアレルギー対応について

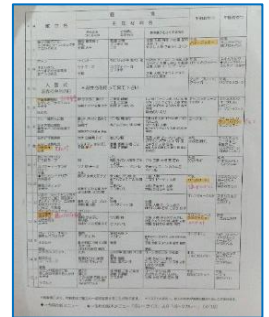
★入園の際、アレルギーの有無の確認を栄養士が行っています。

アレルギーがある場合は、病院での検査結果をもとに、保護者と除去食について話を行っています。

★未満児の場合は、園で食べる食材が一覧になっている食材表を記入していただき、アレルギーの確認、食べたことのある食材の確認をしながら食事を提供しています。初めての食材も多い為、食材をひとつずつ食べていただき、アレルギーの有無を確認しながら、食材表をうめていってもらっています。

<次の月がくる前に確認していること>

- 1, 栄養士がアレルギー除去食の子どもに合わせた献立表を作成（食べられないものにマーカーでチェックを入れた献立表）
- 2, 担任が献立表をチェックし、マーカーに漏れがないか確認する
- 3, 栄養士と担任が対面して、一日一日のメニューをみながら除去食の有無と内容（変更の食べ物）を一緒に確認する



<毎日の食事提供時にする確認>

※離乳食の場合、一人ひとり食べている食材が違うので、食べていないものが提供されないかどうか、確認のためにこの工程を行い、間違いがないように徹底しています。食材表がうまるまで毎日行います。

- 1, 午前中に調理担当者と保育士で、その日のメニューを声出し確認する
その後、配膳をする時にも、メニューを指差し、声出し確認を行う
- 2, 給食を受け取りクラスに給食を持って行ったら、献立表をみながらクラスの職員と間違いがないか確認して、その後本人に配膳する

※アレルギー除去がわかるように、一人ひとりカラートレイ、食器の色を変えて間違いのないように徹底しています。

<保育室で気を付けていること>

★食べる場所を決め、他の子どもと距離をとって食事をし、アレルギーのものを間違えて食べないようにしています。

★未満児は特に、いつどこで口に入るかわからない為、保育士が必ずそばについて対応しています。※離れる際には声をかけ合い、必ず誰かがそばについています。

★未満児は、昼食後に着替えを行い、食べこぼしでの誤飲がないようにしています。

<災害時の対応>

★全園児が食べられるアレルギー食材がない非常食を用意しています

★非常持ち出し袋の中に、「クラス」「名前」「アレルギー品名（例：卵はたべられません）」が記載されているネームプレートが入っており、誰もがわかるようにしています

※子どもによってアレルギーの症状が違う為、必ず保護者の方と緊急時の対応について確認を行っています